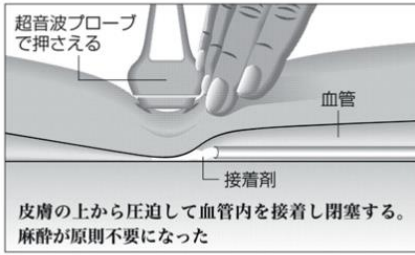




足の血管が浮き上がる下肢静脈瘤^{しじま}の治療で、医療用接着剤を患部の血管に注入して血管をふさぐ「スーパーグルー療法」と呼ばれる治療方法が医療ツーリズムの一環で外国人患者にも提供が開始された。さらなる普及を目指し、先進医療の指定に向け、医療機関が中心となって申請手続きに入る見通しとなった。

医療ツーリズムで外国人へ提供

下肢静脈瘤治療「スーパーグルー療法」



手術に決まりごとの麻酔が原則不要で、体への負担の軽減が期待される同療法を日本はもとより、アジアで初めて導入したのは下肢静脈瘤の治療で多くの実績を積んできた東京血管外科クリニック(東京都文京区)だ。同療法についてインターネットなどで知ったアジアの患者から問い合わせが増えたことを受けて、中国語や英語に堪能な医師を採用し、外国人患者への治療も開始。下肢静脈瘤の悩みを抱えていた中国サッカー男子代表の有力選手も昨春秋の来日時に同クリニックで治療を受けた。

中国代表選手も



今井智浩院長



榎原直樹医師

「回復が早く最新の治療法を受けた」との望みは外国の患者さんからも多数寄せられている。アジアの拠点として治療を提供していきたい」と今井智浩院長は意気込みを語る。

「回復が早く最新の治療法を受けた」との望みは外国の患者さんからも多数寄せられている。アジアの拠点として治療を提供していきたい」と今井智浩院長は意気込みを語る。

は高設な施設を整え、医療ツーリズムを確立しているが、日本は出遅れている。同クリニックでは旅行代理店と連携し、各国の患者に訴えかけ、日本の医療ツーリズム拡大に寄与したい」と(今井院長)との考えも抱く。

患者の要望	第1選択	第2選択	第3選択
痛みを少なくしたい	スーパーグルー	最新レーザー	ラジオ波
青あざを少なくしたい	スーパーグルー	最新レーザー	ラジオ波
血栓が怖い	スーパーグルー	最新レーザー	ラジオ波
弾性ストッキングが履けない	スーパーグルー	—	—
太い血管が気になる(15mm以下)	スーパーグルー	最新レーザー	ストリッピング
表面から盛り上がる血管が嫌だ*	ストリッピング	スーパーグルー	硬化療法
蛇行が強い	ストリッピング	硬化療法	最新レーザー
費用を安くしたい	ストリッピング	ラジオ波	最新レーザー

東京血管外科クリニックの治療内容から

東京血管外科クリニック、先進医療申請へ

国内の潜在的患者が1千万人ともいわれる下肢静脈瘤の治療法は患部の血管を引き抜くストリッピング手術や患部の血管を焼いて治療するレーザー治療などがあるが、これらの治療方法は患者の要望に必ずしも応えられていなかった。その中で欧米から日本に導入されたのがスーパーグルー療法だ。「手術時間は10〜20分程度で日帰りでき、即日、仕事に復帰でき、さらに渡航可能」(今井院長)という特徴がある。まさに治療法にパラダイムシフトが起きたといえるだろう。

東京血管外科クリニックのほか、江戸川病院(東京都江戸川区)の下肢静脈瘤センター長を務める榎原直樹医師は「患部が浅い部分にあるなどの理由で血管内治療が適用されなかった患者さんにはこの療法が適しているだろう」と話す。

ただ、最新のスーパーグルー療法にも欠点がないわけではない。欧米ではレーザー治療の次の治療方法として普及し始めているが、日本では自由診療の扱いとなっていることだ。費用負担を減らすためにも、同クリニックと江戸川病院は共同で、先進医療の指定の申請を近く行う予定だ。厚生労働大臣から先進医療の承認を受ければ、診察代などに公的医療保険が適用される。また、民間の医療保険の対象となれば、治療費がカバーされることになり、今後の展開に注目が集まっている。

問い合わせは同クリニック事務局 ☎03・3556・4103 (月曜から土曜、午前10時〜午後7時)。

パラダイムシフト